

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (3 — 3)

団体名	(特非) TEAM・あげあげ	代表者名	(職名) (氏名) 代表理事 高橋徹
事業名	合言葉は「地域での繋がり」に		

<事業実施実績>

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等で 記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) ※講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
4月20日	サンライフ明石	50 (5)	明石市タウンミーティング西明石エリア 他の明石市民との意見交換
5月18日	クラブ月世界	62 (1)	つながるライブ 団体の活動紹介と交流
5月19日	鳥羽小学校体育館	42 (4)	鳥羽まちづくり協議会総会 地域代表への活動プレゼン
8月17日	IHDセンター	— (8)	災害メモリアルアクションKOBECキックオフ グループと活動の紹介・防災ワークショップ
9月8日	明石市地方卸売市場	9 (4)	「さかな文化祭あかし」研修会 参加依頼のあったイベントに向けての学習会
9月29日	東播磨生活創造センター「かこむ」	47 (11)	Kaco-LABフェス UniDelightTAKASAGOがオリジナルアイデアのイベントを実施
10月27日	IHDセンター	— (4)	災害メモリアルアクションKOBEC中間発表会 今年度の活動の中間報告・防災ワークショップ
11月2日	明石社会福祉センター	18 (4)	あかしボランティアフェスタ TEAM-3Aがオリジナル防災ゲームを実施
11月2日	明石社会福祉センター	80 (4)	あかしボランティアフェスタ TEAM-3Aがオリジナル防災ゲームを実施
11月4日	明石地方卸売市場	2 (10)	さかな文化祭あかし 「魚を使った非常食」のプレゼン
11月9日	和阪小学校コミセン	37 (4)	和阪小学校区ボランティア交流会（防災研修会） TEAM-3Aが講師を務める。
11月21日	兵庫大学	39 (3)	保育学生と地域交流 地域づくりワークショップのファシリテーターを務める
11月24日	大蔵中学校コミセン	31 (5)	大蔵中学校区ボランティア交流会（防災研修会） TEAM-3Aが講師を務める

12月6日	江井島小学校	131 (3)	江井島小学校5年生対象の防災授業 TEAM-3Aが防災授業の講師を務める
12月8日	加古川市民会館	30 (5)	平和のつどい TEAM-3Aがオリジナル防災ゲームを実施
		28 (7)	平和のつどい UniDelightTAKASAGOがオリジナルアイデアのイベントを実施
1月11日	人と防災未来センター	70 (4)	災害メモリアルアクションK0BE2025 年間の活動発表とパネルディスカッションのパネラー
2月13日	鳥羽小学校	85 (4)	鳥羽小学校5年生対象の防災授業 TEAM-3Aが防災授業の講師を務める
2月15日	大久保南小学校	93 (4)	大久保南小学校区防災訓練（防災講義） TEAM-3Aが講師を務める

<効果と成果>

選考時にいただいた意見では「人を育てる」ということについて効果の計測や事業推進の困難が指摘されていましたが、あるきまいったイベントや活動を繰り返し続けるのと人と関わりながら人材育成するということは根本的に異なります。

このことは法人設立から3年、当初からサポートする明石市のユースの自主活動グループTEAM-3Aの活動の定着に刺激を受けて新たに登場した高砂高校の有志グループ、そして今年度中学生がグループに参加という動きが出てきました。

若い世代が積極的に動くことでそれに続く若い世代が動き始めたという点で一つの効果があったと言えます。この動きをすでにいくつかの自治会やボランティアグループにも提案してきました。

また、今年度の後半以降地域防災の研修や小学校での防災授業などで社会人から中学生までが講師を務めることもできました。

ここから次年度本格的な事業として「社会教育推進」という目標に向けて舵を切ることができたという点で一定の成果がありました。

<今後の展望>

発見された課題：

いくつかの自治会やボランティア団体（活動の中心の年齢層が高い）に当法人の取り組みを紹介し、若い世代の参画を提案してもこれまでの自分たちの取り組みを変えたくないという団体が多かった。

特に高齢者が仕切っている地域にこのような傾向が見られた。

また、地域のイベントへのボランティアとして中・高生が参加しているのそれで充分という地域もあった。

参加と参画の違いを罹災いただくことが難しいと感じられた。

今後の課題と取り組み：

今年度の後半から試行してきた若い世代を前面に押し出すような活動を通じて地域から「自分も！」という同世代の人材を発掘し育成する取り組みを実施する。

一昨年度スタートした明石市・社協・コープこうべとの連携をさらに推進し地域力でユース育成を行えるよう「社会教育推進」に舵を切りたい。

<収支決算書>
(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	1 5 0 , 0 0 0
自己資金等	1 7 9
合 計	1 5 0 , 1 7 9

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直 接 経 費	旅費	8 7 , 2 0 0	8 7 , 2 0 0
	備品費	1 8 , 6 5 0	1 8 , 6 5 0
	人件費	9 , 0 0 0	9 , 0 0 0
	小 計	1 1 4 , 8 5 0	1 1 4 , 8 5 0
間接経費（一般管理費）		3 5 , 3 2 9	3 5 , 1 5 0
合 計		1 5 0 , 1 7 9	1 5 0 , 0 0 0